

平成 27 年度 第 1 回 柔道整復学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 27 年 9 月 16 日（水）19：00
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 102 教室
- 出席者：11 名
 - 伊藤 速史（公益社団法人 東京都柔道整復師会 副会長）
 - 深沢 篤（みさと接骨院 チーフ）
 - 道狭 浩子（ひろこ整骨治療室 院長）
 - 佐藤 和伸（佐藤代田整骨院 院長）
 - 小泉 利幸（三進興産 営業部部長）
 - 奥田 久幸（校長）
 - 岸本 光正（副校長）
 - 木下 美聡（学科長・議長）
 - 湯浅 有希子（学科教員）
 - 伊賀 久高（副校長付）
 - 松丸 浩子（事務次長）

<本日の議題>

1. 報告事項

- 「コンプライアンス（ハラスメント）勉強会」実施報告（前回の振返り）
- 「第三者評価、自己評価報告書」の概要説明
- 「キャリア支援」の活動報告

2. 検討事項

- 「「キャリア教育と支援」について
-

1. 報告事項

- 「コンプライアンス（ハラスメント）勉強会」
→教職員向勉強会（平成 26 年 6 月 25 日）、3 年生向勉強会（平成 27 年 3 月 2 日）の実施報告。教材を通じ「個人情報」「関連法令」他内容を紹介。
- 「第三者評価、自己評価報告書」の概要説明
→私立専門学校等評価研究機構による第三者評価を受審、現在準備を推進中。審査会の最終評価は平成 28 年 3 月末日の予定。
- 「キャリア支援」の活動報告
→ 一人ひとりに適したキャリア支援を目指した「職業理解」、「コミュニケーションスキル・アップ」、「進路指導」のためのセミナーや個別相談のプログラムを紹介。

2. 検討事項

<キャリア教育と支援について>

上記の議題について、下記のような意見が出された。

- 就職がゴールではない。地域に密着した治療院を開業するなど「学生に夢を持たせる」教育を。
- 柔整師、介護、開業など就職後の状況をフィードバックする仕組み、システムを。追跡調査していくとどのような進路が本当に良いのかが判るはず。
- 学生の時から施術所で働き技術を習う。それを研修と呼んでいる。アルバイトと思っているとお金が目的になってしまう。
- どんな施術所が、どんな人が生き残るのか。またどんな技術が生き残るのか。その答えは、人を呼び込める力、人に好かれること。

(文責/伊賀)

平成 27 年度 第 1 回 鍼灸学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 27 年 9 月 17 日（木） 15：00
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 305 教室
- 出席者：12 名
 - 伊集院 克（公益社団法人 東京都鍼灸師会）
 - 藤原 良次（株式会社アールエフ 代表取締役）
 - 菊池 優子（貴子鍼灸治療室 副院長）
 - 前田 真也（カリスタ株式会社 代表取締役）
 - 前田 千尋（カリスタ株式会社 院長）
 - 奥田 久幸（校長）
 - 岸本 光正（副校長）
 - 青木 春美（学科長）
 - 三村 聡（学科教員・議長）
 - 渡邊 靖弘（学科教員）
 - 伊賀 久高（副校長付）
 - 松丸 浩子（事務次長）

<本日の議題>

1. 報告事項

- 「コンプライアンス（ハラスメント）勉強会」実施報告（前回の振返り）
- 「第三者評価、自己評価報告書」の概要説明
- 「キャリア支援」の活動報告

2. 検討事項

- 「「キャリア教育と支援」について
-

1. 報告事項

- 「コンプライアンス（ハラスメント）勉強会」
→教職員向勉強会（平成 26 年 6 月 25 日）、3 年生向勉強会（平成 27 年 3 月 2 日）
の実施報告。教材を通じ「個人情報」「関連法令」他内容を紹介。
- 「第三者評価、自己評価報告書」の概要説明
→私立専門学校等評価研究機構による第三者評価を受審、現在準備を推進中。審査
会の最終評価は平成 28 年 3 月末日の予定。
- 「キャリア支援」の活動報告
→ 一人ひとりに適したキャリア支援を目指した「職業理解」、「コミュニケーションスキル・アップ」、「進路指導」のためのセミナーや個別相談のプログラムを
紹介。

2. 検討事項

<キャリア教育と支援について>

上記の議題について、下記のような意見が出された。

- スポーツトレーナーとして心理面の支援も重要になる。スポーツ心理学、医療心理学の授業があればと考える。また、国際大会出場のスポーツトレーナーには英語が要求される。

(回答) スポーツ理論の講義にて取り入れていきたい。また外国語の重要性や楽しさを伝える講義を検討していきたい。

- 鍼灸師会からの情報が大変に役立つ。鍼灸師会と教職員の連携が大事。
- 鍼灸に対してのモチベーションに個人差がある。学生の中から鍼灸に対してのモチベーションが高いと年齢が若くても信頼されている。鍼灸を高めていける人が業界をリードしていく。
- Early exposure や見学会の受入先に学校の理念を浸透させ受入れてもらうようにされると良い。Early exposure が終わった後、面談をした方が良い。見学会も面談が大事。

(回答) 来年度は実施したい。

- 技を深めるとともに、問診で懐に入って「聴き出す力」が非常に大事。活躍している本校卒業生の一例だが、コミュニケーション力が高く「聴く力」があり、例えば、肩凝りが人生にとってどのようなマイナスになっているのかを聴き出している。
- 本校は（優秀な一部の人だけではなく）全員を掘り起こしているのが偉い。
- 現場としては、まず“人として”の教育が大切
- （進路相談されたなら）人として鍛えてくれる本校を推薦したい。

(文責/伊賀)